



2021年11月9日

各位

会社名 株式会社京葉銀行
 代表者名 取締役頭取 熊谷 俊行
 (コード番号 8544 東証第一部)
 問合せ先 経営企画部経理担当部長 根津 幸彦
 (TEL. 043-306-2121)

通期業績予想の修正並びに

剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当行は、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）につき、下記のとおり決議するとともに、期末配当予想を修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期業績予想の修正について

(1) 修正内容

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,200	7,500	57.86
今回修正予想(B)	15,000	10,400	80.63
増減額(B-A)	3,800	2,900	
増減率(%)	33.9%	38.6%	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	11,987	7,383	56.52

2022年3月期通期個別業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,800	7,400	57.09
今回修正予想(B)	14,700	10,200	79.08
増減額(B-A)	3,900	2,800	
増減率(%)	36.1%	37.8%	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	11,584	7,358	56.32

(2) 修正理由

2022年3月期（通期）の個別業績予想は、コア業務純益につきましては、今後も当第2四半期（中間期）と同程度の伸長を見込んでおります。一方、実質与信関連費用につきましては、現時点では落ち着いた状況となっておりますが、将来的な新型コロナウイルス感染症の影響が不透明であること等から、保守的に予想しております。

これにより、経常利益は147億円、当期純利益は102億円となる見込みであり、前回（2021年5月12日）発表した予想を上方修正いたします。

個別業績予想の修正に伴い、連結業績予想につきましても上方修正いたします。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について（増配）

(1) 剰余金の配当（中間配当）の決定内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年7月30日)	前年同期実績 (2021年3月期中間)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	10円00銭	9円50銭	9円00銭
配当金総額	1,295百万円	—	1,175百万円
効力発生日	2021年12月3日	—	2020年12月3日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	9円50銭	9円50銭	19円00銭
今回修正予想	9円50銭	10円00銭	20円00銭
当期実績	10円00銭	9円50銭	19円00銭
前期実績 (2021年3月期)	9円00銭	10円00銭	19円00銭

(3) 理由

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営と内部留保の充実に努めますとともに、ステークホルダーへの適切な配分を行うことを利益配分に関する基本方針としております。

2022年3月期第2四半期決算の実績と通期業績予想の見通しを踏まえ、中間配当につきましては、前回予想の9円50銭より50銭増配し10円とすることを本日の取締役会において決議いたしました。また、期末配当につきましても、前回予想の9円50銭より50銭増配し10円とする予想に修正いたします。これにより年間配当額は前年実績19円から1円増配し20円となります。

※本資料の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上